

「エコ モビリティ ライフ」の推進に係る 平成22年度の取組状況について

1 「エコ モビリティ ライフ」に関する普及啓発

(1) 公共交通利用促進モデル事業の実施

- 県内の地域団体から公共交通の利用促進のモデルとなる企画提案を募集し、選定された4つの取組について、県が支援して、応募団体と共同で実施。

3月17日に「公共交通利用促進モデル事業成果報告会～公共交通を支える地域の取組～」を開催。

事業名	事業内容
「柿の里バス」を便利に利用して利用者拡大（石巻・下条地域交通推進委員会）	<ul style="list-style-type: none"> ポイントカード事業の実施。 運行地域の内と外向けに利用を促すバスマップを作成。
だれもが知っている「あさぴー号」を目指して（尾張旭市営バス「あさぴー号」を育てる会）	<ul style="list-style-type: none"> クイズラリーの実施や市民講座の開催。 市内の全児童への公共交通に関する下敷きの作成、小中学生を対象とした「公共交通すごろく」の作成。
バスがつなげる人とコミュニティの復活（武豊町コミュニティバス利用促進友の会）	<ul style="list-style-type: none"> バス停用ベンチを住民参加により製作。 路線沿線で開催される朝市を盛り上げるためのイベントの開催。
駅から事業所まで自転車が利用できる仕組「駅から自転車」の構築（豊田市エコ通勤をすすめる会）	<ul style="list-style-type: none"> 駅から2km前後離れた事業所までの通勤手段として自転車を活用。昼間は事業所の業務でも自転車を利用。

(2) 「あいちエコモビリティライフ広報キャラバン隊」によるPR

- エコモビの日（毎月第1水曜日）や土日祝日にエコモビPRラッピングをしたペロタクシーを名古屋・栄や県内各地で運行。また、県内の駅前やショッピングセンターなどにおいて、ポケットティッシュの配布などにより「エコ モビリティ ライフ」をPR。（22年11月3日～23年3月20日）





(3) PR資材及び電子・広報媒体を活用した普及啓発

○ PR用DVDの作成

- 「エコ モビリティ ライフ」の意義や効果、実践方法を楽しくわかりやすく紹介するDVD「家族みんなで！LET'S エコ モビリティ ライフ ～はじめよう 環境にやさしい交通行動～」を180枚作成し、協議会構成員へ配付。様々なイベントや会議、ロビーなどで上映するほか、ネットあいち「インターネット情報局」での配信や中央県民生活プラザでの上映を実施中。

○ ポスター・チラシ・ポケットティッシュの作成・活用

- ポスター（B1判220枚、B2判2,230枚、B3判150枚）、チラシ（A4判30,000枚）を作成し、協議会構成員に配布。ポケットティッシュ（240,000個）を作成し、広報活動に活用。

DVDジャケット



ポスター・チラシ



- ウェブページの更新やメールの配信
 - ・ ウェブページ「知って得するエコモビ実践ガイド」の更新やメールニュースの配信。
- 広報媒体を活用したPRや公共交通の利用促進の呼びかけ
 - ・ 広報番組などを通じた広報や広報誌、会報誌などに記事を掲載。
- 放送やメールなどによるPR・働きかけ

(4) キャンペーン・各種イベント・各種取組などによる普及啓発

- ・ リニモ de 夏祭り&モリコロパークお誕生会やメッセナゴヤ2010、とよはし「バスの日」2010などにおけるブース出展やパネル展示、啓発資材配布などにより、「エコモビリティライフ」をPR。
- ・ 「バスの日イベント」や「公共交通に親しむ日」など関連イベントの開催
- ・ 研修会、出前講座、シンポジウムなどの開催
- ・ 公共交通利用促進イベント、ウォーキング大会などを活用したPR

2 エコ通勤・エコ通学への転換促進

(1) エコ通勤・エコ通学の働きかけ

- リニモ沿線地域の住民への働きかけ
 - ・ リニモ沿線地域に転入してきた住民（転入予定者を含む約2,500世帯）を対象に、モビリティ・マネジメント（MM）の手法を活用して、公共交通（リニモ）を利用した通勤・通学への転換を促進。
 - ・ リニモ定期券所持者（中学生以上）を対象とした「通勤・通学レンタサイクル」（無料、140台）を実施。

(2) 「エコ通勤デー」や「エコ通勤」運動の実施

- 県内各地におけるエコ通勤の促進、「エコモビの日」や「ノーマイカーデー」、「エコ通勤デー」における「エコ通勤」運動の実施

3 パーク&ライドの普及拡大

(1) リニモ沿線地域におけるパーク&ライドの普及推進

- パーク&ライド駐車場の運営
 - ・ リニモ「愛・地球博記念公園」駅北側の月極パーク&ライド駐車場（231台分、月額1,500円）を地元市町と共同で運営。
- パーク&ライドの普及推進に係る調査の実施
 - ・ モビリティマネジメントの手法を活用して、リニモ沿線地域（豊田市猿投地区・藤岡地区（約2,000世帯））を対象に、住民の移動実態や公共交通利用の意向等を把握するとともに、愛・地球博記念公園駅北側のパーク&ライド駐車場の周知及び利用促進を図る調査を実施。

(2) 県内各地におけるパーク&ライドの普及推進

- 鉄軌道駅周辺駐車場実態調査の実施
 - ・ 県内全域の鉄軌道駅周辺（概ね半径300m以内）における駐車場の実態を把握し、情報のデータベース化を図ることにより、パーク&ライドの普及促進に係る今後の施策展開の方向性や具体的な取組を検討していく上での基礎資料とするための調査を実施。
- 店舗利用型パーク&ライドの普及推進
 - ・ 大型店舗の既存駐車場を活用した店舗利用型パーク&ライドを県内の4店舗で実施。
- 市町村等におけるパーク&ライドの普及推進

4 公共交通の利用に対する動機付け

(1) 施設等における公共交通利用者への優遇措置の導入・働きかけ

- 公共交通利用者の観覧料割引（エコモビ割）
 - ・ あいちトリエンナーレ2010及び愛知県美術館企画展（「小川芋銭と珊瑚会の画家たち」、「カンディンスキーと青騎士展」）における公共交通利用者の観覧料割引（エコモビ割）を実施。
- 公共交通利用者へのサービス提供

(2) 交通エコマナー（EXPOエコマナー）の普及促進

- ・ EXPOエコマナーの運営主体である「エコデザイン市民社会フォーラム」と連携・協力し、総会や各種イベントなどにおいて、EXPOエコマナーを発行。

5 その他

(1) 公共交通の利便性向上に向けた取組の推進

- 「リニモビ」の運用
 - ・ GIS（地理情報システム）の地図上で、リニモ各駅に接続する路線、バス停、時刻表などの様々な情報が、パソコンや携帯電話から取得できるホームページ「リニモビ」を運用。

(2) 自転車による移動の推進

- レンタサイクル事業、コミュニティサイクル事業などの実施
- 自転車走行空間の整備及び社会実験の実施

(3) 環境にやさしい自動車利用の推進

- EV・PHVの普及推進
- エコドライブ・アイドリングストップの推進
- カーシェアリング事業の実施

(4) ITS（高度道路交通システム）の推進

- ・ ITSの推進を通じた、公共交通の利用促進、移動の利便性・快適性の向上。